

The three layered structure of orbicularis oris and buccinator complex with partial connection at the modiolus and partial direct continuation

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2024-09-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石井, 益子 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003735

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2554 号

The three layered structure of orbicularis oris and buccinator complex with partial connection at the modiolus and partial direct continuation

口輪筋と頬筋との複合体は3層構造で、一部はモダイオラスで連続し、一部は直接連続する

石井 益子 (いしい ますこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、口輪筋、頬筋、その他口唇周辺の筋について連続性や根本的な構造についての研究である。本研究は、口輪筋・頬筋の連続性、モダイオラスの位置や範囲、頬筋から上唇・下唇へ行く筋束の量が同量でないことを明らかにした。

【新規性、創造性】 頬筋はモダイオラスで交叉し口輪筋に連続する、もしくは、モダイオラスで停止するとされる記述が混じり、曖昧なままであった。本研究は、剥離標本を深層から観察することで、浅層の頬筋はモダイオラスで停止するが、深層の頬筋は交叉せずに口輪筋に直接連続するという根本的な構造を明らかにした点で新規性がある。

【方法・研究倫理】 順天堂大学に献体された日本人 17 体のご遺体をホルマリン固定後解剖し、原位置および骨から筋を取り外した剥離標本を観察することで行った。倫理審査を受けた研究 (承認番号 2014138) であり、研究倫理に則ったものである。

【学術的意義】 頬筋・口輪筋の根本的な構造が明らかになったことによって、口唇の開閉や幅を狭めたり広げたりする動きを正確に説明する根拠となると示唆される。

【考察・今後の発展】 本研究によって今まで曖昧だった頬筋・口輪筋の連続性が明らかにされ、筋束の走行に基づいた口唇の動きを説明する根拠を示すことが可能となった。この根拠を立証するためには、運動学的解析を含む踏み込んだ機能的研究を追加する必要があるが、頬筋と口輪筋の連続体としての構造についての知見は、臨床でも役立つ可能性がある。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。